様式2　　平成29年1月26日

平成28年度　評価計画及び自己評価

（ 計画 ・中間 ・最終 ）　　広南中学校区　校番　2　学校名　呉市立広南中学校

a　学校教育目標	<広南学園> 自立に向かって 主体的に生きる 「学び」と「ありがとう」 の日本一を目指して	b　経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉 （学校の使命）	大きな夢と志を持ち， 社会に貢献する人材を育成する
			〈ビジョン〉 （将来の学校像）	○深い学びの精神と感謝の気持ち，社会貢献への気概をもつ児童生徒を育て，地域から信頼される学校 ○地域文化の拠点として地域の活性化に貢献する学校

c　中期経営目標を踏まえた現状（進捗状況）と今年度の重点	広南中学校（広南学園）としてスタートして5年目を迎える。校訓など学校のもつ伝統と文化・地域性を基盤として，今年度は「**未来を創る**」をキーワードに，「**課題発見・解決**」また「**協働・探究**」の視点からの教育活動全体の改善をすすめ，礼節・挑戦に加え，新しい価値を生み出せる創造性を校風として位置づける教育活動を展開することで，「学びの変革パイロット校」として生徒のコンピテンシーを育むモデル校として研究を推進し、地域へ発信する。

評価計画（中期経営目標を設定してから　1　・　②　・　3　年目）						自己評価					
重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（今年度）経営目標	f 目標達成のための方策（こんなことをして達成します）	g　指標（効果を見とる目安）	h 目標値	9　月			2　月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
★★★ 確かな学力の育成	貫 義務教育9年間を見通した学力を育成する	「課題発見・解決学習」を手がかりとした授業改善	・課題発見・解決学習の指導案の開発（各教科1・総合的な学習の時間1） ・単元末評価活動の充実	生活と学習に関するアンケートの「課題発見・解決学習」の肯定的評価	70%	85%	121%	A	88%	126%	A
		読書活動の充実	・論語写し等の継続 ・読書貯金の継続 ・ビブリオトークの継続 ・教師によるブックトーク活動	生活と学習に関するアンケート「読書習慣」の項目の肯定的評価	70%	73%	104%	A	71%	101%	A
★★ 豊かな心健やかな体の育成	礼節と挑戦心を身につけ，体力づくりに主体的に取組む生徒を育成する	貫 広南しぐさ・生活習慣の改善指導の徹底	・生徒会活動の充実による自律的な校風づくり	・生徒アンケート「4項目」に係る肯定的評価	90%	93%	103%	A	94%	104%	A
		体力の向上	・体力強化キャンペーンの実施（2回） ・体育の授業・部活動でのメニュー改善	・50m走・立ち幅跳・長座体前屈の項目で昨年度より上回る生徒の割合	90%	85%	94%	B	91%	102%	A
		挑戦心の高揚	・「勇気づける声かけ」の実践 ・資格習得「トリプル3」 ・表彰等の活用	・生徒アンケート「挑戦意欲」に係る肯定的評価	80%	86%	108%	A	91%	114%	A
★ 信頼される学校	貫 地域に貢献し活力を生み出す学校をつくる	生徒の地域貢献の達成感	・総合的な学習の時間での地域貢献活動PROJECT ・ボランティア活動の充実	・生徒アンケート「地域に貢献した」肯定的評価の割合	90%	95%	106%	A	97%	108%	A
		PTAの参加の機会の充実	・土曜参観日を年3回に増やすとともに，PTCレクレーションの企画など参加意識を高めるエ夫をする。	・保護者アンケート「参観日，学校行事に年3回は参加した」肯定的評価の割合	90%	3学期に評価			91%	102%	A
		地域発信力の充実	・HP・学校便り・学年だより・保健だより（月1回以上の発信） ・メディア（新聞・TV）で「ひろみなみ」の魅力を伝える（3回）	・保護者アンケート「学校は地域への情報発信に努力している」肯定的評価	100%	100%	100%	A	100%	100%	A

【k：評価】
A：100≦（目標達成）　B：80≦（ほぼ達成）＜100
C：60≦（もう少し）＜80　D：（できていない）＜60

様式3

平成29年1月26日

平成28年度　結果の分析及び今後の改善策

（ 中間 ・ 最終 ）

広南中学校区　校番　2　学校名　呉市立広南中学校

重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（1年間）経営目標	l 結果の分析（結果と課題をこう考えます）	m 今後の改善策（案）（こう改善します（案））
★★★	（貫）義務教育9年間を見通した学力を育成する	「課題発見・解決学習」を手がかりとした授業改善	挑戦問題の設定や6つの資質・能力を意識した授業展開や評価を行うことで，「課題発見・解決学習」のすべての項目について，目標を達成することができた。特に，「課題の設定」や「総合的な学習の時間」における情報収集，整理・分析・発表等の学習活動は，90％以上の肯定的評価を得ている。また，総合的な学習の時間においては単元末の評価活動の充実や，振り返りを意識した授業改善にともない，「学習の振り返り」の項目も86％以上の肯定的評価を得た。しかし，学年別の結果では，「情報収集」，「整理・分析」「まとめ・創造・表現」の項目において目標が達成できていないので，学年実態に応じた取組が必要と考える。	各教科では，授業の「めあて」とその評価のための基準（ルーブリック）を生徒と共有することで，めざす姿を明確にした授業を行っていく。また，課題解決のために必要な資料を自分で収集したり，取材したりする場面や自分の考えを積極的に伝えたりする場面を設定し，思考力・判断力・表現力を高めていく。今後も教科と総合的な学習の時間における「課題発見・解決学習」の単元づくりやその改善を進め，7つの資質・能力についてのルーブリックによる評価の検証を行っていく。
		読書活動の充実	各学年，読書活動の充実のため，1学期は総合と国語の時間にビブリオトークを実施。2学期は国語の授業に読書に関する1分間スピーチを取り入れ意欲付けを行った。図書委員会ではブックトークを3回（1回目のテーマは「夢」2回目のテーマは「夏」3回目のテーマは「役に立つ本」）開催した。ブックトークでは，参加者も多く，図書委員も意欲的に取り組んだ。さらに，12月には，「図書館祭り」を行い40名以上の参加者があり，図書館に関するクイズや広南中学校の図書館利用の現状を発表し，先生方の図書館の思い出のインタビュービデオの紹介を通して図書館利用を呼びかけた。また，読書ノートも引き続き継続し，保護者への働きかけを行う。担任からの声かけにより，提出率も高く，生徒への意識付けが行われている。	3学期も国語の授業では1分間スピーチを継続して行い，紹介した本を掲示するコーナーを設置する予定である。また，読書ノートを来年度に向けて改善を加えながら，継続して記録させる。図書委員会でも，新しい体制になるので，小学校への読み聞かせなども行いながら，中学校での読書の啓発活動に取り組む。
★★	礼節と思いやりを誇り，体力づくりに主体的に取組む生徒を育成する	（貫）広南しぐさ・生活習慣の改善指導の徹底	生徒会執行部が中心となり，学校生活の様々な課題について，全校生徒に提案を行っている。特に時間を守るやあいさつについては肯定的評価が高い。しかし，忘れ物についての肯定的評価が86％であり，さらなる取り組みが必要となる。	あいさつや時間を守る，掃除に取り組むは前期より目標値を超えており，今後は「できている」数値からより質の高い内容を生徒ともに考えていきたい。
		体力の向上	「50m走」「立ち幅跳び」については90％以上の生徒が前期から昨年の記録を上回った。これは50m走や立ち幅跳びは生徒が競って挑戦する傾向が数値が高まっているためだと考えられる。柔軟性を測る長座体前屈が前期測定後の課題であった。昨年の記録を上回っている生徒が前期は76％であったが，後期の測定で80％台後半まで上がり，目標値を上回ることができた。	・「今までの自分を超える」を合言葉に授業で声かけをしていく。 ・体力の向上に向けて今後も体育の授業，部活動等で適切な指導をしていく。
		挑戦心の高揚	今年度はどの検定においても受検者数が昨年より増加した（漢字検定26名→40名，数学検定19名→22名，英語検定14名→15名）。 トリプル3合格者も3名となった（昨年度1名）。教科の学習や総合的な学習の時間での挑戦問題への取り組みや，自分や仲間とともに解決する経験の積み重ねにが，学習への充実感や新しく知識を得る喜びにつながったと考えらえる。	・さらなる単元開発，行事や日々の取り組みの中での課題発見解決の場の設定や意識づけを行う。 ・引き続きトリプル3を目指した資格取得・検定挑戦を呼びかける。 ・生徒の頑張りを表彰するなどして，モチベーションを高める。
★	（貫）地域に貢献し活力を生み出す学校をつくる	生徒の地域貢献の達成感	地域貢献が学校から地域への発信がメインになっており，地域の方からの肯定的な評価を頂くことで，生徒の達成感が高まっていることで，高い評価となっている。	地域の方に学校に来ていただく活動だけではなく，今後は生徒が地域のために自主的に行う，本当の意味の地域貢献の在り方を生徒会執行部を中心に生徒と考えていく。
		PTAの参加の機会の充実	本年度は，まず，PTA総会及び第1回参観日を休日開催とし，例年の平日開催よりも出席率(H27:64%→H28:85%）が大幅に向上し，PTA総会も大変盛り上がった。次いで，11月6日（日）には，県教委の施策「学校へ行こう週間」に併せ，道徳の授業参観，学校説明会，さらに，生徒・保護者・教職員の絆を深めるべく，広南中初の「PTCレクリエーション」を開催し，この行事も保護者に大好評を博し，出席率の大幅な向上とともに，継続開催の要望も多かった。今年度，「休日開催を視野に入れた魅力的な行事の企画・実施」が功を奏したと考える。	・次年度も，保護者と教職員の初顔合わせである「PTA総会」や学校へ行こう週間の「授業参観」等，今年度の出席率の向上を踏まえ，休日開催とする。さらに，今年度好評を博した「PTCレクリエーション」等の魅力的な行事を企画・実施する。
		地域発信力の充実	学校だより，保健だよりは月1回，学年通信は月1回以上発行できた。また，HP・安心ネットは月2回以上更新し，閲覧率の大幅に向上した。このような意欲的な情報発信が功を奏し，2学期末保護者アンケートの肯定的評価も100%という結果が出た。一方，メディアでは，5月の「自転車交通安全教室」の様子，10月の「起業企画」の宣伝，1月の「くれしん笑芸会爆笑寄席」出演に向けた練習の様子等が新聞やTVで紹介され，目標(3回)を達成するとともに，本校の知名度や教育活動の評価の向上に繋がったと考える。	・次年度も，各種たよりの定期的且つ意欲的な発行と，HPでは，学校行事での生徒の様子を写真等を多用して閲覧率の向上を図るとともに，地域発信力の充実を図る。また，メディアにおいても，今年度を踏襲し，様々な行事に際して，新聞社等との密なる連携を図り，保護者・地域の学校教育に対する理解の深化を図る。

様式4

平成29年2月6日

平成28年度　　学校関係者評価及び改善策

（　中間・最終）

広南中学校区　校番　2　学校名　呉市立広南中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標，指標の設定の適切さ	A	○小中一貫教育校として，小学校と連携した目標（指標）を掲げている点や生徒実態を的確に把握し，小学校への乗り入れ授業，小中合同授業研究等による意欲的な授業改善や情報発信の充実と地域人材の活用等，保護者・地域との密なる連携と協働を意識した目標設定は高く評価できる。
目標達成のための方策の適切さ	A	○生徒の主体的な学びや資質・能力の育成に向けて，新たな単元開発とともに，昨年度以上の意欲的な小中合同授業カンファレンスと授業研究の実施，さらに，読書活動の活性化と表現力の向上を兼ねた「ビブリオトーク」の導入や「図書館祭り」等の新たな試みは高く評価できる。 ○漢字検定・数学検定・英語検定ともに受検者数が大きく増加している。各教科の授業改善による学習意欲の高揚や総合的な学習の時間での様々な取組を通しての挑戦心の高揚によるものと考えられ，目標達成に向けた的確且つ効果的な方策が立てられている。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	○各項目において，学期毎の各種アンケートや学力調査を基にした詳細且つ妥当性・客観性のある分析がなされており，先生方の教育に対する熱意を感じる。
今後の改善策（案）の適切さ	A	○具体的な改善策が考えられ，適切である。今後も，学校の取組や成果と課題及び改善策を，保護者・地域により一層情報発信し，学校に対する協力体制の強化を図ってほしい。
その他	○授業参観において，子どもたちの姿勢の良さ，授業への真剣さが素晴らしかった。また，英語科でもICTの有効活用が成されており，授業改善に向けた先生方の意欲を感じることができた。 ○総合的な学習の時間の「匠の時間」において，学びの集大成として「5年・9年交流」の取組報告があったが，自己効力感の高揚とともに，学んだことを下級生に教えることで更なる学びの深化になり，大変良い取組である。これは，部活動でも同じことが言え，各部ともに上級生への指導をお願いしたい。 ○最終報告で，先生方の各教科や総合的な学習の時間，日々の様々な取組を視聴させていただき，その熱意に敬意を表したい。また，休日を返上しての部活指導も高く評価できるが，健康管理をくれぐれもお願いしたい。 ○テレビやゲームによる活字離れが進む中，今後も「ことばの力の育成」に向けて，読書活動の推進をお願いしたい。	

※　評価は，A（とても適切），B（概ね適切），C（あまり適切でない），D（まったく適切でない），N（分からない）

学校関係者評価を受けての今後の改善策	○今年度，本務者教科での新たな単元開発と本学園の資質・能力を見取るためのルーブリックの開発を行うことができた。次年度は，ICTやワークシートの活用による「振り返り」の時間の確保とともに，その充実に向けた授業展開の工夫（発問や話合いの質の向上）を図る。さらに，授業実践を通して，ルーブリックの妥当性や客観性の検証を行う。また，「学びの変革」パイロット校として，その研究成果をHP等を通して情報発信し，他校への普及を図る。一方で，授業規律の確立や社会性の育成に向けて，挨拶や返事，立腰，発表の仕方等，教師・生徒の評価方法の工夫による意識の高揚を図りつつ，粘り強い指導を継続する。 ○次年度も，アンケート結果から本校の資質・能力の育成に有効であった「総合的な学習の時間」の取組を踏襲するとともに，短期マネジメントサイクルによる見直しを図る。「生き方学習」では，第1・2学年時に「先人たちの魅力的な生き方や職業」について，ビブリオトークを通した学び合いを，さらに，第3学年では，高校説明会での内容を整理し，生徒同士が各校の特徴のプレゼンを行い，より良い進路選択の一助とする。一方，「ふるさと学習」の，第1学年では，我が国の古典芸能「落語」で挑戦心・表現力育成や地域への発表，第2学年では，「起業企画」や起業家の招聘を通して，第3学年では「より良い未来づくりをテーマにした創作劇」を通して，挑戦心・貢献心，協働的態度，自己効力感の育成とともに，夢や志をもつ生徒の育成を図る。 ○前回，評議員より提案のあった平和学習については，3月からひとつのプロジェクトとして実施することを計画している。 ○今年度，休日参観の増加や生徒・保護者・教職員の絆を深めるためのPTCレクリエーション等，新たな学校行事の企画・実施を通して，保護者・地域の学校行事への参加率の向上と本校教育活動の理解の深化を図ることができた。次年度も取組の踏襲と更なる魅力ある行事の創造とともに，それらの行事や学校生活の様子を学校・学年・保健だよりの発行やホームページ及びメール配信を通して意欲的に家庭・地域へ発信し，より一層学校教育への協働意識の向上を図る。